



カケハシ・プロジェクト（米国） イノウエ・プログラム招へいの記録

1. プログラム概要

【目的・概要】

イリノイ工科大学建築学科の大学生・大学院生 11 名が、3 月 11 日～17 日に東京都・奈良県・京都府を訪問しました。視察や企業訪問を通じて日本の建築や歴史・文化への理解を深めるとともに、大学交流やホームステイ、表敬訪問を通じて日米間の相互理解を育みました。さらに、関係各所との交流を通じてネットワークを強化し、日本の魅力について発信しました。

（注）イノウエ・プログラムはカケハシ・プロジェクトの一環として、米日カウンシルと連携して実施する米国の大学生を対象としたプログラム。参加者は、日米関係の発展に尽力した故ダニエル・イノウエ上院議員の業績についても学ぶ。

【参加者】米国イリノイ工科大学建築学科の大学生・大学院生 9 名及び引率者 2 名 合計 11 名

【訪問地】東京都、奈良県、京都府

【日程】

■ プレプログラム（オンライン事前学習）：

3 月 5 日（木曜日） 【来日前（渡航前）オリエンテーション】 事業目的・ミッション、日程説明、
渡航上の注意、感染症対策等
来日までの指定期間 【動画視聴】 日本理解講義（Web Japan より選択）

■ 招へいプログラム：

3 月 11 日（水曜日） 羽田空港より入国
【来日時オリエンテーション】
3 月 12 日（木曜日） 【視察】 明治神宮
【企業訪問】 SANAA 事務所
【視察】 警視庁 遺失物センター
3 月 13 日（金曜日） 東京都から奈良県へ移動
【学校交流】 奈良女子大学
【ホストファミリー対面式】
3 月 14 日（土曜日） 【ホームステイ】 奈良市
【ホストファミリー歓送会】
【視察】 ならまち
奈良県から京都府へ移動
3 月 15 日（日曜日） 【視察】 桂離宮、東福寺
【視察】 錦市場

【視察】京都仙洞御所

京都府から東京都へ移動

3月16日（月曜日） 【表敬訪問】大西 洋平 外務大臣政務官

【企業訪問】藤本壮介建築設計事務所

3月17日（火曜日） 【ワークショップ】報告会準備（訪日成果のとりまとめ、帰国後の活動計画（アクション・プラン）の作成）

【報告会】訪日成果・帰国後の活動計画発表

【視察】お台場

羽田空港より出国

2. 記録写真

招へいプログラム



2026年3月12日【視察】明治神宮



2026年3月13日【学校交流】奈良女子大学



2026年3月14日【ホームステイ】



2026年3月14日【視察】ならまち



2026年3月15日【視察】桂離宮



2026年3月15日【視察】東福寺

	
2026 年 3 月 15 日【視察】錦市場	2026 年 3 月 15 日【視察】京都仙洞御所
	
2026 年 3 月 16 日【表敬訪問】 大西 洋平 外務大臣政務官	2026 年 3 月 17 日【報告会】集合写真

3. 参加者の感想（抜粋）

◆ 大学生

明治神宮では、最初の鳥居をくぐって参道に入った瞬間、まるで別世界に足を踏み入れたように感じました。頭上を覆う木々の静けさと、足元の玉砂利の感触が心を落ち着かせてくれました。和歌について学んだことも非常に刺激的でした。大学院に入ってから建築のプロジェクトに俳句を取り入れてきたので、今後は自分の作品に和歌も取り入れていきたいと思います。

◆ 大学院生

一番印象的だったのは、日本の家庭でのホームステイでした。特に日本の日常生活について知り、日本文化を直接学ぶことができました。いただいた食事はとてもおいしく、ホストファミリーのおもてなしの心に感動しました。

◆ 大学生

奈良女子大学では、学生の皆さんがとても温かく迎えてくれ、共通の趣味を通じてすぐに打ち解けることができました。彼女らの生活や目標について知ることができ、この交流は非常に実りあるものになったと感じています。これからもぜひ連絡を取り続けたいと思います。

4. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ ホストファミリー

近所にある自分たち家族にとっては何でもないガレージを、建築学科の2名が「今まで見たことのない美しい建築」と涙を流しそうになりながらスケッチを始める様子を見て、新しいものの見方を私たち家族は教えてもらいました。また、地元地域がとても誇らしくも思えるようになりました。

◆ ホストファミリー

大学生になったら海外に留学に行きたいと思っていましたが、今回初めてホームステイに来ていただいて、日本にいながら米国人の彼女たちと交流することができ、米国留学の夢が広がりました。一緒にたこ焼きをしたり、ゲームをしたり、言語を超えてコミュニケーションをとることができました。

5. 参加者の対外発信（抜粋）、報道記事等

	
2026 年 3 月 15 日（Instagram） 仏教寺院から禅庭園まで一丁寧に設計された庭園が生み出す人間的なスケール感を実感し、さらに大規模な寺院に見られる精巧な木組みにも大いに刺激を受けました。建築の研究から実社会のプロジェクトに意識を移すことができ、これらの学びには思考を刺激されました。好奇心は尽きません。	2026 年 3 月 17 日（Instagram） 私たちの交流プログラムは終わり、参加者それぞれが景観、交差点、忘れられた場所など、さまざまな視点から自身の体験を吸収し、共有することができました。この一週間で新たな知識を得るとともに、日本文化への理解をさらに深めることができ、全体のアクション・プランは記念すべきものとなりました。 大学キャンパス内で、人が行き交いながらも見過ごされがちな場所にモミジの木を植樹します。また、この場所に、日本への旅の思い出とともに、伝統的な木組み技術を用いて作られた木製ベンチを設置し、建築専攻の学生が主に利用する二つのエリアをつなぐことで、その「裏通り」に再び活気を取り戻したいと考えています。 さらに、より大きな目標として、今回の参加者がイリノイ工科大学（IIT）で築いた日本との新たな関係を、今後も継続していきたいと思います。

6. 報告会での訪日成果とアクション・プラン発表（抜粋）

全 3 グループ発表

グループ A



【成果の発表】

◆ 訪日中の学び

神道ではお清めが重視されており、祈りの前に手水所で手や口をきれいにすることを学びました。また、大学生活や大学の休暇の違い、奈良では自然と人工物がうまく組み合わされていることを学びました。枯山水の庭は小宇宙を表現していること、木材が広く建築に用いられていることなど、建築の素材の違いも学びました。

◆ 個人的展望

就職したら木材を使って設計をしようと思います。また病院を建築する際、日本的なデザインを取り入れて、患者の気持ちが休まるようにしたいと思います。また、シカゴでは日本的なデザインを取り入れることがあまりないため、今回学んだ日本的なデザインを自分の設計に取り入れたいと思います。

【アクション・プラン】

秋に卒業を控えていることから、5月末までに、3グループ合同でイリノイ工科大学（IIT）のキャンパス内に木を植えます。香りがよく、寺院等で使われることが多いヒノキと、日本庭園に必須のモミジを植えたいと思います。どちらもシカゴの気候にも合っているようです。

グループ B



【成果の発表】

◆ 訪日中の学び

東京でのインフラや公共交通機関、また交差点で多くの人々が行き交うのを見たことから「交差点」をテーマとして設定しました。日本では、異なる材質や人々、文化、伝統と現代的な要素ものなど、さまざまな組み合わせに出会いました。

◆ 個人的展望

日本の建築やその精神を学ぶことができたので、自然とのつながりを意識したデザインを作りたいと思います。また日本の建築技術をどうやって取り入れるか考えます。さらに、今回は大学の授業では学べないことをたくさん学べたので、今後の仕事に取り入れていきます。

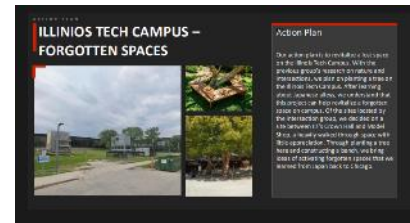
【アクション・プラン】

秋に卒業を控えていることから、5月の末までに、3グループ合同でIITのキャンパス内に木を植えます。この植樹によって、自分たちの日本での旅や経験を伝えたいと思います。イロハモミジを植えて多くの人に見てもらうことで、人と人とのつながりを生み出したいと思います。

グループC



Culture & Urban Space — Key Differences		
Environment	Japan (Tokyo / Osaka)	US Cities
Urban Density	High density, vertical development	Low density, horizontal development
Public Space	Small, integrated public spaces	Large, separate public parks
Architecture	Modern, functional, integrated	Historical, ornate, separate
Urban Planning	Top-down, centralized	Bottom-up, decentralized
Urban Design	Functional, efficient, integrated	Aesthetic, historical, separate



【成果の発表】

◆ 訪日中の学び

シカゴでは裏通りは、ごみの収集などに使う道であり、見せたくないものを置いておきますが、日本では静かな裏通りにレストランがあり、車が来ないので歩きやすい空間になっていました。

◆ 個人的展望

ホストファミリーにとってもよくしてもらったので、自分もホストファミリーとして学生を受け入れてみたいです。またシカゴの都市計画に今回学んだことを取り入れるとともに、公共の空間をもっと生かせるようにしたいと思います。

【アクション・プラン】

秋に卒業を控えていることから、5月の末までに、3グループ合同でIITのキャンパス内に木を植えます。学内のクラウンホール付近に人気のない忘れられた空間があるので、そこに木を植えてベンチを置き、人がとどまることができるようにして活気を取り戻したいと思います。

実施団体：一般財団法人日本国際協力センター（JICE）